

1. 「2017年4月 学修コンシェルジュによる学士課程1年生対象ガイダンス」

1) 目的：学士1年生が、東工大に円滑に適応し、ユニットの仲間と協力しながら、学業はもちろん、それ以外の様々な活動を通して一層、主体的かつ積極的に取り組んでいくような習慣を作る。

2) 開催概要

◆日程：4月5日（水）～4月19日（水） 昼休みまたは夕方の50分で実施。

◆形態：1ユニット（約14名）・2ユニット（約28名）ごとに学修コンシェルジュ（学修支援部門2名と東工大OB（蔵前工業会会員）6名が担当）によるガイダンスを合計69クラス実施。

◆ガイダンス内容：学修コンシェルジュからのガイダンス、ユニット学生の自己紹介、2・3年生による後輩への歓迎のメッセージを実施。学修支援部門・教務課・学生支援課で作成した配布資料（東工大の歴史、学生生活、学士1年前期の時間割の基本、授業以外に東工大で出来ること等）、「東京工業大学 学修の心得」「学びの7か条」など。）を使用し、本学の学修で必要なこと、本学の支援の内容、その他本学で実現できること等を知ってもらい、東工大をより理解し、スムーズな学生生活のスタートを切ってもらおう。なお、学生からの個別相談ニーズに対しては、ピアサポーター学生による個別相談、学修コンシェルジュ窓口での相談等で対応した。

◆出席率：87.8%（対象者1,123名中986名が出席）（参考：2016年度の出席率は73.9%）



3) 受講生アンケート結果（出席者986名中、回答者数927名）

◆選択式質問（*：あてはまる,ややあてはまるの合計割合）

設問1：ガイダンスを聞いて、自分が東工大の一員という感覚を感じるようになった。（*72%）

設問2：ガイダンスは、自分が東工大でうまくスタートする助けになりそうだ。（*72%）

設問3：履修科目について、有益なアドバイスがもらえた。（*61%）

設問4：授業以外にも、東工大で何かに取り組んでみようと思った。（*79%）

設問5：困った時にどこに相談に行けば良いかわかった。（*91%）

◆自由記述欄

《ガイダンスの感想》（アンケート回答者数927名中752名が記入）

- ・東工大での学生生活を理解することができた（学生生活において必要なこと、今後の大学生活のイメージ、時間割の組み方、東工大の歴史など）
- ・不安が解消した（大学生活、履修やサポート体制への不安の解消）

- ・仲間ができた（ユニットメンバーとの顔合わせの機会）
- ・配布された資料が良かった
- ・授業後の息抜きになった
- ・先輩の話が参考になった，等々

《東工大での生活，学修について，困っていること，支援が必要なこと》

（アンケート回答者数 **927** 名中 **174** 名が記入。参考：2016 年 4 月は，アンケート回答者数 **740** 名中 **435** 名が記入。）

- ・やりたいことが多すぎて取捨選択できない
- ・選択科目の選び方がわからない（文系教養科目，英語の選択科目，ウェルネス科目など）
- ・留学について（情報，時期など）
- ・大学内の施設の案内がほしい，講義室の場所が分かりにくい，校内が分からない
- ・特になし（多数：本ガイダンスをはじめ，東工大の各種ガイダンスがある程度，機能している）

2. 「2017 年 4 月 学修コンシェルジュによる大学院課程 1 年生対象ガイダンス」

1) 目的：他大学から東工大大学院に進学した学生を中心に，東工大の教育体系の全体像や学修上の意義を伝え，学生が自主的に学修する力を身につけられるように促す。博士後期課程に進学した場合の経済的援助やリーディング大学院プログラム等の大学院入学後の選択肢について情報提供する。また，学内の各種相談窓口を周知する。学生が所属研究室での活動にまい進しつつ，さらに幅を広げ，かつ困った時には自ら適切な部署を訪ねるような習慣を作る。

2) 開催概要

◆日程：4 月 10 日（月），11 日（火）1 回 50 分×9 クラス開催。

（大岡山 6 クラス（うち英語 2 クラス），すずかけ台 3 クラス（うち英語 1 クラス））

◆形態：学修コンシェルジュが講師を担当。同じ内容で日本語・英語それぞれ複数日程でクラスを設定。学生がニーズに応じて受講するクラスを選択できるようにした。

◆ガイダンス内容：学修コンシェルジュが，「東京工業大学 学修の心得」の中から特に大学院生に知ってほしい内容に焦点を絞ってガイダンスを実施。学生からの個別相談ニーズに対しては，ガイダンス終了後の質問受付と学修コンシェルジュ窓口での相談への誘導で対応した。

◆出席者数：日本語クラス合計 **104** 名（大岡山 40（修士 34，博士 6），すずかけ台 64（修士 59，博士 5））
英語クラス合計 3 名（大岡山 2（修士 2），すずかけ台 1（博士 1））（参考：2016 年度の出席者は合計 **46** 名）

◆資料：「学修の心得」（日本語版，英語版）

3) 受講生アンケート結果（出席者 107 名中 92 名が記入）

◆選択式質問（*：あてはまる，ややあてはまるの合計割合（日本語，英語））

設問 1：このガイダンスの目的を理解した。（*90%，100%）

設問 2：東工大の大学院課程の教育システムの特徴，さまざまな選択肢について理解した。（83%，100%）

設問3：東工大の大学院課程で成功する（有意義に過ごす）ための考え方,スキルについて理解できた。
(79%,100%)

設問4：困った時に,どこに相談に行けばよいか理解できた。(87%,100%)

設問5：プレゼンター（発表者）の話し方は,理解しやすかった。(88%,100%)

◆自由記述欄

《ガイダンスの感想》(アンケート回答者数 92 名中 57 名が記入)

- ・他大学から進学してきたため,東工大のシステムに関してあいまいな点が多かったが,今回のガイダンスで理解できた。

《今後の企画の希望》(アンケート回答者数 92 名中 20 名が記入)

- ・すずかけ台にも学修コンシェルジュの窓口があると良い。
- ・リーディング大学院,特別専門プログラム等について,誰に何が向いているかの説明が欲しい。

3. 実施結果

学士課程1年生対象のガイダンスについては,昨年度からの変更点が大きく5点あり,①開催時期の前倒し,②告知の追加,③入学時オリエンテーションの内容との精査によりガイダンス資料の変更,④先輩学生からのガイダンス,⑤ピアサポーターとの連携である。

その結果,昨年度は履修関係がわかりにくいという声が新入生から多くあったが,今年度はガイダンスの中で,学士課程1年生の時間割について,必修科目を中心に基本的な履修の仕組みについて話をしたことで,学生が基本的な履修については理解をすることができ,英語の選択科目やグローバル理工人のコースなどの+αの履修に意欲を持ちやすくなったのではないかと推測される。

また,大学院課程のガイダンスについては,開催時期を2ヶ月に前倒しで実施したことにより,参加者数が倍増した。内容についても,昨年度,東工大の学部から進学してきた学生達からは,「既知の内容だった」という声が多かったため,今回は,「他大学から東工大の大学院に入学してきた学生」に本学の教育体系や各種の支援について知ってもらうということを主な目的として実施し,アンケートの結果からは,一定の効果が得られたと考えられる。

以上